

講義名: 博物館資料保存論 <春> 曜日1: 木5 担当教員名: 井上 敏		ナンバリングコード: MUSE2420 曜日2:	
研究室: 聖アンデレ館8階822号室	オフィスアワー: 事前にメールで連絡をして調整してください。基本的に月曜、水曜、木曜となります。	メールアドレス: s-inoue@andrew.ac.jp	
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
本講義では博物館の資料を保存するとはどういうことか、ということを見野において、①博物館資料の保全、②博物館資料の保存環境、③環境保護と博物館の役割、と大きく3つに分けて講義する。講義内容については理化学的な知識と共に伝統的な保存方法についても触れる。			
学習(到達)目標			
博物館における資料保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を通じて、資料の保存に関する基礎的能力を養う。			
講義・演習計画			
【第1回】 ガイドンスー博物館における資料保存の意義			
【第2回】 博物館資料の保存(1)ー状態調査・現状調査			
【第3回】 博物館資料の保存(2)ー資料の修復・修理			
【第4回】 博物館資料の保存(3)ー資料の梱包と輸送(1)			
【第5回】 博物館資料の保存(4)ー資料の梱包と輸送(2)			
【第6回】 博物館資料の保存環境(1)ー保存の諸条件とその影響			
【第7回】 博物館資料の保存環境(2)ー生物被害とIPM(総合的有害生物管理)			
【第8回】 博物館資料の保存環境(3)ー災害の防止と対策(火災、地震、水害、盗難等)			
【第9回】 博物館資料の保存環境(4)ー伝統的保存方法			
【第10回】 博物館資料の保存環境(5)ー収蔵、展示等の保存環境			
【第11回】 環境保護と博物館の役割(1)ー地域資源の保存と活用(エコミュージアム等)			
【第12回】 環境保護と博物館の役割(2)ー文化財の保存と活用(1)			
【第13回】 環境保護と博物館の役割(3)ー文化財の保存と活用(2)			
【第14回】 環境保護と博物館の役割(4)ー自然環境の保護			
【第15回】 まとめ			
成績評価の方法			
試験		レポート	70%
		その他	30%
コメント	成績評価は遠隔授業の場合、①M-portでの講義の中で小課題(3回 各10点)を抜き打ちで実施し、メール等での提出とします。対面授業の場合、今後の授業運用に向けて学生の進捗状況や理解度を把握する目的でコメント欄を設けた出席カードの提出を3回求めます。理解度やこの内容に応じた点数を30点とします。(30パーセント)②最終レポートは第15回の講義終了後にメール等で提出とします(70%)。①と②を合わせて100%(100点満点)で評価します。		
テキスト			
著書	石崎武志	タイトル	博物館資料保存論
ISBN	978-4-06-156503-6	出版社	講談社
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
講義中に指示する。			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)			
この講義では理科学的な知識も必要とするので、できるだけ優しく理化学的な知識について解説する予定であるが、予習復習は自身でしっかり行うこと。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
文化財保護の歴史 資料梱包 IPM(総合的有害生物管理) 危機管理 エコミュージアム			
備考(管理者用)			
(旧:博物館学特講)08~11生読替			